

教科名	国語	科目名	文学基礎		
開講年次	5年次	履修区分	必履修	単位数	4単位
使用教科書	文学国語（筑摩書房） 古典探究（古文編・漢文編）（筑摩書房）				
その他教材	新版核心古文単語351（尚文出版） 新精選 古典文法 三訂版（東京書籍） 基礎から解釈へ漢文必携五訂版（桐原書店）				

科目のねらい

言葉による見方・考え方を働かせ、論理的・批判的に考える力および生涯にわたる社会生活に必要な国語の基本的知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深め、国語で的確に理解し効果的に表現するために必要な資質・能力の基礎を育成する。

年間計画

期	学習内容	学習内容やねらい	課題と評価観点
前期	<ul style="list-style-type: none"> 文学の価値 【文学国語】 『死者の声を運ぶ小舟』 『文学の仕事』 『小説とは何か』 『隠れん坊の精神史』 	おとぎ話や戦争体験などの様々な視点から、言語の違いや国々の関係、また時代や文化に思いを馳せ、人類にとっての文学の価値について考えさせる。	ユニットテスト【AB】 レポート【B】 卒論プロジェクト 「計画」に関する面談【C】
	<ul style="list-style-type: none"> 古典（物語）の価値 【古典探究】 『伊勢物語』 『源氏物語』 『更級日記』 	和歌と散文部分が紡ぎ出す「歌物語」の特質に触れ、文法や語彙、和歌の修辞法への理解を深めながら、和歌や内容の解釈を通して登場人物の行動の特徴と心情を読み取らせる。また、『源氏物語』の精読を通じて長編物語の始まり方と展開を理解し、重要古語、敬語表現など文法事項に注意しながら物語に描かれた平安時代の社会の仕組み、人々の生活やものの見方・感じ方への関心を深め作品世界全体への興味を広げさせる。さらに日記文学である『更級日記』を通じて、作者が『源氏物語』に対して抱いていた心情を理解・想像することで、古典の価値について考えさせる。	ユニットテスト【AB】 プレゼンテーション【B】
後期	<ul style="list-style-type: none"> 古典（記録）の価値 【古典探究】 『論語』 『四端』 『性悪』 等 【文学国語】 『論語－私の古典』 	儒家の祖である孔子、その思想を受け継ぎながら独自の展開を見せた孟子や荀子などの文章に触れ、時代や社会の変化を超えて読み継がれる言語表現が持つ普遍的な内容を読み取りながら、現代における古典の価値について考えさせる。	ユニットテスト【AB】 プレゼンテーション【B】 卒論プロジェクト 「スキルの応用」に関する面談【C】
	<ul style="list-style-type: none"> 小説の価値 【文学国語】 『山月記』 『ころ』 『沈黙』 	漢籍に由来する伝奇的物語をベースにして書かれた小説『山月記』、夏目漱石の代表作『ころ』、現代人の心情や人間関係を描いた『沈黙』の読解を通じて、登場人物の心の揺らぎや社会へのまなざし、個人としての自我や欲望に目覚めて生まれる他者および自分自身のなかの葛藤を見つめ、作品の主題について探究しつつ、小説の価値について考えさせる。	レポート【B】 卒論プロジェクト 「振り返り」に関する面談【C】